



Edwards

**2024年 2月改訂 (第3版)
*2021年 9月改訂 (第2版)

医療機器届出番号 13B1X00231000046

機械器具07 内臓機能代用器
一般医療機器 弁形成リング用サイザ 17703020

カーペンターエドワーズフィジオ三尖弁用リング用サイザー

*【形状・構造及び原理等】

適切な弁形成リングサイズを決定するために使用し、患者の弁輪に位置させ、術者が適切な弁形成リングサイズを決定することができます。

トレイキット1262TRAYKITの構成品

品番	種類	入数	材質
1262SET	カーペンターエドワーズフィジオ三尖弁用リング用サイザーセット	24～36mm (計7個入)	ポリフェニルスルホンおよび ニッケル・チタン合金※1
1150※2	人工弁輪用ハンドル	1個入	ポリフェニルスルホンおよび ステンレス鋼※1
1151※2	人工弁輪用ハンドル	1個入	ポリフェニルスルホンおよび ステンレス鋼※1
TRAY1262	サイザートレイ	1個入	ポリフェニルスルホンおよび ステンレス鋼※1

※1：クロムおよび/またはニッケルを含有

※2：1151の中間ステンレス鋼部分は1150の中間ステンレス鋼部分より約5cm長くなっています。

* すべてのサイズのセットとハンドルがトレイに収納されており、再使用および再滅菌ができます。

【使用目的又は効果】

弁形成術時に手で用いる外科用器具で、適切なサイズの弁形成リングを植え込む開口部を測定することができます。トレイキットはホルダに使用するハンドルを含みます。

＜使用目的又は効果に関連する使用上の注意＞

本品はカーペンターエドワーズフィジオ三尖弁用リング専用のハンドル付きサイザです。その他の弁形成リングのサイジングには使用しないでください。

*【使用方法等】

適正な人工弁輪の選択を行うため、カーペンターエドワーズフィジオ三尖弁用リング専用サイザ1262を使用して三尖弁をサイジングします。標準的な方法として、専用サイザの2箇所の切り込みにより中隔尖の長さを測り（図1）、併せて前尖の面積を評価します（図2）。

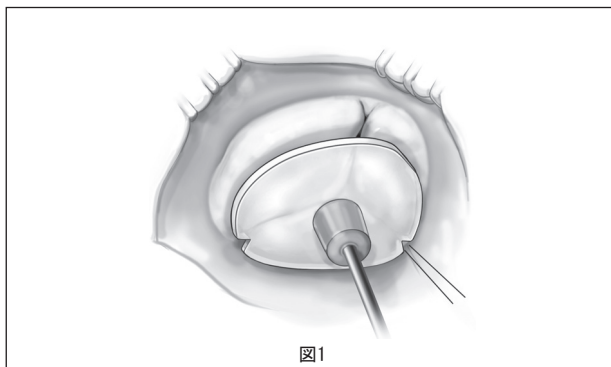


図1

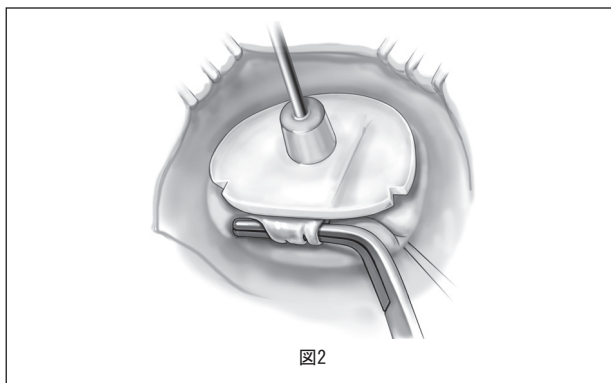


図2

ここでは本品（ハンドル付きサイザ）を使用した本体（カーペンターエドワーズフィジオ三尖弁用リング、品番6200）のサイジング方法についてのみ説明します。人工弁輪の植込み方法については人工弁輪の添付文書を参照してください。

弊社のカーペンターエドワーズフィジオ三尖弁用リングはホルダと人工弁輪用ハンドル1150、1151を用いて植込むことができます（図3）。

1. ハンドルを用いる際は、ホルダの接触部分にはめ込むことによりワンステップ操作で取り付けます（図3）。

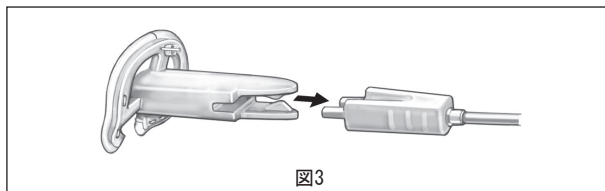


図3

2. ハンドルを曲げるためには、両端を握り徐々に力を加えてステンレス鋼のシャフトを曲げます（図4）。

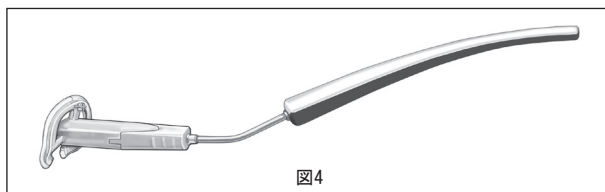


図4

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- * 1. 本品は滅菌されていないため、使用する前には開封して必ず洗浄、消毒および滅菌をしてください。製品お届け時の袋に入れたまま滅菌しないでください。
- * 2. 該当する病院の手順および以下の推奨手順およびパラメーターに従って、使用する前に毎回、洗浄、消毒、滅菌する必要があります。
- * 3. 構成成品に亀裂、ひび割れ、その他の劣化が明らかに認められた場合は、使用をやめる必要があります。弊社の営業担当者に連絡して該当する交換品を入手してください。

* 【使用上の注意】

重要な基本的注意

- * 1. サイザおよびハンドルの破片はX線不透過性ではなく、外部画像装置で見つけることができません。

不具合・有害事象

重大な有害事象

- * 1. 感染（洗浄、消毒および滅菌が不十分な場合、感染の原因になる可能性があります。）

* 【保管方法及び有効期間等】

耐用期間

- * 構成成品にくすみ、亀裂やひび割れなどの損耗の徴候がないか調べます。劣化が認められた場合は構成成品を交換します。

* 【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

- * 注意：ハンドルは洗浄、消毒、滅菌前にホルダから必ず取り外してください。
- * 注意：本添付文書に記載の方法以外で洗浄、消毒、滅菌を行う場合は、使用者の責任において実施してください。

* 洗浄手順

* 手動洗浄の手順

- * 1. 構成成品を冷たい水道水の流水ですすぎ、全体の汚れを落とします。
- * 2. 製造業者の推奨に従って、中性pHの洗浄液（サイデザイムや同等品）（3.8リットルあたり30mLの温かい水道水）を準備します。
- * 3. 構成成品を洗浄液に完全に浸して最低5分間浸漬します。他の器具と接触するのを避けてください。
- * 4. 5分間浸漬した後、柔毛ブラシを使用して構成成品を最低3分間こすり、目に見える汚れをすべて落とします。
- * 5. 構成成品を洗浄液から取り出し、冷たい水道水の流水ですすぎます。次に、逆浸透／脱イオン水で最低2分間すすぎます。
- * 6. 目に見える汚れがある場合は洗浄プロセスを繰り返します。

* 自動洗浄の手順

- * 1. 構成成品を冷たい水道水の流水で洗い、全体の汚れを落とします。
- * 2. 製造業者の推奨に従って、中性pHの洗浄液（サイデザイムや同等品）（3.8リットルあたり30mLの温かい水道水）を準備します。
- * 3. 構成成品を洗浄液に完全に浸して最低1分間浸漬します。他の器具と接触するのを避けてください。
- * 4. 構成成品を、トレイのマークに従ってトレイに設置します。
- * 5. 設置したトレイを、自動洗浄機に蓋をはずして入れます。
- * 6. 該当する場合はモーターのスピードをHIGHにし、サイクルおよびサイクルパラメーターを以下の推奨に従って選択します。

* フェーズ	再循環の時間	温度	洗剤の種類
* 予洗浄	2分	冷たい水道水	N/A

* 酵素による洗浄*	2分	温かい水道水	中性pHの酵素系洗剤（サイデザイムまたは同等品）3.8リットルあたり30mL
* 洗浄	2分	50° C（設定温度）	アルカリ洗剤（Neodisher Mediclean Forteまたは同等品）3.8リットルあたり7mL
* すすぎ	1分	60° C（設定温度）	N/A
* 乾燥	7分	115° C（設定温度）	N/A

- * *酵素による洗浄の段階はオプションで、洗浄機のモデルによって異なる場合があります。

* 消毒

* 高温消毒の手順

- * 1. 構成成品を、トレイのマークに従ってトレイに設置し、蓋をはずして洗浄器／消毒器に入れます。
- * 2. 該当する場合はモーターのスピードをHIGHにし、以下の推奨パラメーターを選択します。

* フェーズ	再循環の時間	最低温度
* 温熱すすぎ	5分	90° C

* 高濃度消毒の手順

- * 1. 高濃度消毒液（Cidex OPAまたは同等品）の水浴を最低20° Cで平衡化、または製造業者の推奨に従います。
- * 2. 構成成品を消毒液に完全に浸し、滅菌済みの柔らかい布で表面を拭いてすべての気泡を表面から確実に除きます。
- * 3. 構成成品を最低15分間浸漬します。
- * 4. 構成成品を滅菌済み純水または同等の液に完全に浸し、かくはんして最低1分間浸漬して徹底的にすすぎます。各すすぎごとに、新しい滅菌済み純水または同等の液を用いてこれを3回繰り返します。
- * 5. 構成成品を滅菌済みの柔らかい布を使用して乾かします。

* 滅菌の手順

- * 注意：施設ごとに、生物学的インジケーターによる評価を含む手順を用いて滅菌手順の有効性を確認する必要があります。
- * 注意：滅菌時にはトレイを重ねないでください。

* 滅菌器の種類	設定	プレコンディショニング	最低温度	最高温度	露出時間	最小乾燥時間	最小冷却時間
* 重力蒸気滅菌	二重包装	N/A	132° C	137° C	15分	50分	60分
* 予備真空	二重包装	4パルス	132° C	137° C	4分	45分	15分

- * 使用の前にすべての装置を調べてください。粒子が見える場合は、洗浄と滅菌のプロセスを繰り返してください。

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

** エドワーズライフサイエンス合同会社

** 電話番号：03-6895-0301（顧客窓口センター）

* Edwards, エドワーズ, Edwards Lifesciences, エドワーズライフサイエンス, 定型化されたEロゴ, Carpentier-Edwards, カーペンターエドワーズおよびCarpentier-Edwards Physiolは Edwards Lifesciences Corporationの登録商標です。その他の商標は全てそれぞれの所有者に帰属します。